【北平三十日同盟】治安維持委員

務委員には冷家職、呂均等六名が

士よりそれん 一六名總計約四十

新聞界、有力自治團體並に在野名

殻會式を擧げ引續き第一回協議

江氏は北支の元老

は卅日午後二時より全員参集

曹を開くこととなった、委員は市

府各局長、商總會、銀行、公界

名よりなり、委員長に江朝宗、常

蔣治安維持委員會を

南京三十日同盟上蔣介石が地方的解決を排

と日本政府との交渉一切を承認せぬ意味と

持委員會を承認せず、乃至同委員會

黄寺附近で今朝衝突

鈴木、酒井兩部隊が衝突したものと見られる「てゐる、忽經公經經歷上或る保安除阮元武の部隊及び西苑の敗發兵と我が「やうにあくまで經歷だ如をとっ隔たる約一キロの武寺附近において石友三の「ニテン外租の答照に考取される

やらにあくまで凝整的方針をとつ の他ヨーロッド問題で手一杯の歌

看取される 政府はスペイン問題、對伊閣僚、そ

桁の態度は取日の開催におけるイ いが同であらうが何しろイギリスを予北文事態に闘するイギリス酸。し肚の底は南京総府を覆り立てた「ロンドン廿九日福岡司監轄派員、べく事態の平線ならんことを希認。

スコー駐剳蔣廷黻の兩支【ロンドン二十九日同盟】

朝野の意向を打診

英國靜觀

一場守備隊

優勢なる敵を撃退

【天津三十日同盟至急報】一時平靜に見えたが

支那、又も射撃開始

十日午前零時三十五分頃敵はまたもや我に

[天津卅日同盟]支那駐屯軍司令部三十日午

一我が太活攻撃部隊は午前十一時西沾一帶を

西沿

帶を占領す

時半發表―海軍よりの通報

女維持天育具會成立

?は市政府、民間代表等四十名

御事間主席バルギー戦事に対して、足りものがあるが頼る装飾。 愛難に堪へかねてか二十九日夕利 度だのものか我を 和議斡旋を日

津三十日開盟』支那側に繋が一いが支那個の滅点が果してどの乱

大公報上海に引担

理解ある態度を示し始の自由主義

再號外

おいて第二十九軍の敗北を認め、これを自己の責任となし次の 南京三十日同盟至急報」蔣介石は一 一十九日夜新聞記者團との

曾見に

淋菌を一重に殺菌し

如く

信すらものと

専間家悉く驚嘆 素人でも安全に出來る

再發せぬ新發明療法

た、既に北平に通ずる交通線は悉く日本車の撃中にあり、宗弥元ま 後に起いたので日本軍は不當の要素を提出して末に飛迫を加へた、 暫元に動し即時限定に赴くやう総令したが宋は石命令を展視して天 河北の信勢県化を降へると共に中央軍は北上したが果の配三の一 加重を決定し日本単に對し組織ある抵抗を試みることは用来なかつ 要素の長として用行政院長として右の腰順すべき状態につきて動物方における第二十九軍の英職は完全に吸北に歸した、余は軍 よつて一定地跡においてその北上を停止した、その結果末が結局 全責任 を資ふものである、魔術後事性態生と共に会は宋 を配けるであらり、更に今後はあらゆる地変がの無地は恋くなし、中間は関系の弦狂観に主観を発手製に無関であらり、これより思い監世のケ領を表発手製は無関であらり、これより思い歴世のケ領を表 ち四ケ條を承認せざる限り中央は断 るやう命じたと作べられるが現状のまとにおいては なるものは絶對に許さない、全事態は 歴もぬ、他つて既成事質を突きつけるとい 日本政府は川越大便に測令して交渉開始のため

能はず、、即とは、中國にはず、の理性の理解、即の立場、即の立場の理事を表示の理事を表示の理事を表示の理事を表示の理事を表示を表示。即の立場の理事を表示の理事を表示。即の立場の理事を表示。即の理事を表示。

推當

醫學博士 深潮周一先生東京日比谷祿院及

ので素者として主義に退機の職

解國 | 成河

る能

點たる北平を喪失したるは勿論重大なる打撃始されるに至らない、政治上歴史上の中樞地始されるに至らない、政治上歴史上の中樞地感は45条際脈脈に45条件、組織的抗争は、45開 今日に至る形勢は蓋し常然の結果である、然しながら平田地方は ではあるが軍事的見地からは必らずしもしか た何等効果的抗事の用感が出来てゐなかつたから七月二十六日以降

委員長に江朝宗を推

上新、連載新軍に封ぜられ福米元老の一人として北京に薩城レー九を加し京師巡兵総司令に任ぜられたが従籍史戦して離任、同年陸軍 歩ル。観として京師の治安維特に任じ一九一七年京畿衛成副司令と北平信導社関長で本年七十五殿北支元老の一人である、一九一二年 推されるととなった(寫真は江朝宗) 二八年獻作森北京依退後、慈善城合敦秀曾(後に臨時治安維持會)

渉を企つ

+

郭泰嶼及び滯英中の南京政府財政部長孔祥熙然ロンドン到着支那大使舘において駐英大使然ロンドン到着支那大使舘において駐英大使スコー駐剳蔣廷祉の兩支那大使は二十八日突 駐歐支那大使倫敦で密議 きいはれる う要求するこの情報を持ち寄り制策してゐる

の月を覚しむの

北支は期朝に

なつても 日遠からし

ほれず

に出沒し銃砲墜絶えず聞えたが午前六時頃漸深更より三十日拂曉にかけて敵小部隊が盛ん

上海に連行さる

に無名で二十四

「健住死んでも異説を明ふい」と飛び出し、際領に高談をいい、 (関社に関係)

で拍響に均高さ

の解消の外や 東洋平和確立

は列島の部下

『のぞみ』で楽天へ 州日『あかつき』で入城、同 『のぞみ』で楽天生

天地支黄 海、正義日本に映く花の実 海、正義日本に映く花の実 八頁

北支清掃者々進む。明明北支 川岸部隊戰死將 本日夕 ħľ

北年の東万より四里の地路にある 満村で去る二十七日から猛烈な 長いた **八▲同朝子前雄** 大**漢國保▲步**兵

【天津二十九日同盟】 安那駐屯軍司令部二十九日午後七時發表::-(一)二十九日夕刻

帶を占據

は北平西北方の敵を宛平右岸に撃退せり(一)酒井部除は午後三時四十分黄村に進入す(一)

河邊部隊は午後六時宛平縣を占據す

のる、その他日英爾各租界在留那人の消息は斯記特別第一馬以外

(部分不明である、北支經濟進出の魁けとして開調に接集中で

保安隊またも蠢動

での後期は不明、多分安全地帯に避難してあるものと重想されて東北の鏡前第二級は二十九日午後四時までは一同無事だつたが

忌は百方手を強したが二十九日夕刻に至るも遂に不明。また錯

天津三十日同盟三十日午前二時頃天津東

東站總站回で激戦

及び總站の中間において保安隊が警戒中

銃砲墜盛んに響きわたつてある **我軍に突如射撃を加へたため兩軍衝突目**

邦人多數消息不明

に河湖に抵抗し今南梁にこれを配退せり、戦の選集せる死根は一般初第七版守備隊は昨日より優勢な戦の攻撃を受け居るが守備

多数ある見込みなり、幽礁兵器多

RIWE S 公則 400 Z

井部除は午後七時頃衙門口を占領せり(一)炎に駐屯軍は作戦開始以來僅か二日にして永定(一)鈴木部除は西苑の敵を撃退しその主力は黄村を他の一部を以て西村に進出せり(一)鴻天進1十九日夏皇皇皇 zwww. 単句電子九日年後十時義

戦が展開した白河

だしました。 贺 行



ふ府民館で結成式

征勇士に威謝の嵐

支皇軍慰問

お取次をします

左駆けての非常時間に高額した一勢中であり、既報の通り発天に養

、朝特派員戰死

南苑の戦闘で頭部に銃創

京城通信局の岡部孫四郎君

|自年期十脚本射に井板文章|| 脳中観地たる京城の如き一度び瞬|| 好の知き空観の職で目地次距逐期間を長げ建四維比||の開き施総が駆されてなく殊に生||するのと云はれ続に白頭

一支に作用する簡単人は現在的三一村三年町歩を購入して理解設が一

四、同町左ば組合は百四、竹部町 品場頭町三三西村玉之助さんは百

新班は新聞めでトラモ 面目いキン

總督府の建物に

双葉感激の土俵入り

防空の施設

干戸を集結

陳春は部隊の北支川動に方り

廿師国から祝電

一西大門岩湾下で入登場上の中段

岸部隊長あて 戦死者にも弔意

四百五十回の白金指輪を築まれた

京城府では早くも水防陣を励める

が見ない

下海 木

方では卅日午町二時怪器段人時費を贈られ聞いて宮町真常に開かり、「原衆戦闘町」一八蛟年真春むさん」に總督に登加の越後國包員の 今津博士の素晴しい研

つらい野夢を問題でれてゐる。 歌歌ばれてゐる。 歌歌ばれてゐる。 歌歌がんで歌こり歌歌り 人・歌歌の歌歌ある人。 である。 たんががれず。

南京生取

削

現底の上海流の女を 現のボゲランはよって 東eギャング南京学は



ナで手段を

小生 八百

(リ有

る人は

かく変数なく行

品込まれよ

地方の大部である。 地域が見い、地方の があり、地方から 方面の治療者から 方面の治療者から があり、地方を

大國行

蒸し器さでレール枕の天命

年齢第二十歳以上

結上 城 道 致 道 後

流れる生活の真敵 市 そこに組々と 太陽のない人生真

和刑務官樣的 一十日分

ある国業

安! 防護は参精の愛用にお 京城を精元 設捌 株式 宮肚 瀬 生身の危険! 疾患の不 實 申込文献送 朝鮮視野府等重局製造紅拳権圏 リ 勿憂勿惑 総轄信頼券効理

:十字社朝鲜本部病院服科)学零门学校附属医院服科版帝国大学附属医院服科

赤医京

所製調 定指御 京城本町一下目(郵便局前) 画本②5017番·振舊宗城346番 - 7目 (郵便局前)

は

材

眼

鏡

骪 科院科科

Ф

トンデ西中 ボリリ (二本) ボリリ (二本) ボリリ (二本)

双虫液 全江 竜宗 野鱼宫公私山 斑疹 医院院 立医眠眠 りあた店業國金

(方) (大) (+) (-)

半半二二二二七 額額 設提 割割割割割割 提提 均 供供引引引引引引

衿シャック

0-10-

谐

在可能---展示月間接在 之群日2 押足力数:

ナショナル (三種)

八月の定休日は二日と十六日

人月の足体日112日

訪ねると抗病を徹路をしてゐたとなに用候間の皆復先駆山さん宅を

に熱誠の献金

これは困ります」と吸べ適け込ん

す。今度のことも手紙を営長さ勝ついて来たまゝ遊んでをりま近月中頃創世さんが遊びにくる

は是非とも第一様へ出て御奉公し

×が避児し毎中に飛込み危いところを敷助したが水上駅で取が投口したのを折上く通りかくた草竜町二丁目校在塞さん(a 【卷山】廿八日午後八時五十分頃的內南廣海岸で內地人老女

頭になつて御奉公したい

るとてせめで自分が赤十字を

版異】廿八日成果淑兵隊に第一 從軍を志願

扇子と雑誌

M…所內明峽町二八獨山栗方原日

今度こそは御奉公したいと

水豆油】町内磨湖、京仁、 後の奉仕が

第一線看護婦志願

無粋で診臓する等銃後の奉仕に弱い、なほ殿版な家族に對しては 称、沙奈林、鹿置科等を半額に割の各種院では軍人家族に對し應必

譽れの件を激勵

投身した老母危~救はる

これぞ日本婦人の大和魂

なり置はフジさんのことを心臓しながら出薬したので加をわなり置はフジさんのことを心臓しながら出薬したので加をおったのとない。

水上署では百に桁の後援館を連絡をとつて目下院蔵中である 物関し、老ひたりと雖も東たる日本婦人の異劇さに密瀬し を偲ぶ

緊張第一線の勇將に

齎らされた書信に家庭愛の發露

迸る孝養の一

の武威を中外に高揚し刻々と「〇二十萬府民はすた格服な総出後の意動は質に重々し「至る快報は金剛民を整出せしめ〇一 留守宅に健氣な鯉登夫人

9である去る二十五月恰も駅坊の9である去る二十五月恰も駅坊の 初めて改予夫人宛に聞いされ

お批党シン刀自の老職に非確備 不便無之に紅き御安小被

の勇士しき要に敬笑む刀目を慰め 人が世党シン刀目に革獲を強しえ もり決意のほどと選絡の家庭 オ斯、開等を置み関かせ我が

族に北文一線の従軍を駆倒した 洞四五九代書楽廳語観でしの三書 金紅金 "如 鐵道工事中平組人关 犬々一死器公の念願から憲兵分

島の處女達

車の武成を強が上にも高揚し、掛 に組動はしい、しとやかなトミデ 2升部艦の弾々しき治師振りは鬼 け細菌に整層され流石英雄の家庭。

今里側もいっことはない、産よ相濡みません。主人は出發の祭皆様に色々と側心配かけて誠に

1頭の北支事参勤態以來最初の激 ○院長の留守宅を訪れるとを開正

人君と部下勇士の辛苦偲んで

五ノ井夫人の活動

く就就し多勢の難を消滅した五 推ぶ口は主の進奏を別ばせ、彩内であった態が難で源兵をもつて 歯の壁に掛けてある験長の軍院と

者である 一同氏に閉城の實業なで信念限く、 格二千四十九個)の献納を申出た一

從軍を志願 | 歌画長人の文字を総込んで戯士に | 鄭玖末亡人モトさんごとに、上人 は単原出来ないと思い、楊の身を家族を慰問するやり木織の職女に | 野北集藩族式類似さん故北殿彦女 モトさんはもう長男とほこの世で を整備でせたが引置き歴ーの生取割も今から十二年前の

「日前駅に出頭し重地開発」数(で、に第一線に表示し、和は「開城」北本副金元昭氏は二十人 のご芸は二十七 和は 開城の有力實業家

河外

用無阿爾哈佛」の記念碑を建立し のたのが今は勝り精つて五百国に

算してあるがモトさんは死後一

支那人感謝 慰問金を寄託

7日朝張騰享氏 三代安として群山 【誰山】版内是留支那人、同は廿

解前老松町一枯木店內中勝範,通 北省明河縣城廣東底館金城郡、寨 天驾平町)番地域島書松方李城街

命を投げ出し

張黃海道議 あつさり服罪

放棄し原要判決通り服理するこ 単が一週間の知日を経過するさ になつたので整新版を保留中の な六ヶ月但し三年間形の特合 別選反教芸事的に既服の如くこ き最後されたが、 司氏は芸術 180長漢面呂後里印刷東西世生 長酒郡區國田黃海雄西福町 施州] **動選の町景りに上げら**

親:酒:納r し 盃:れ む に

源を

適應



に違ふ。



【満州】非常時を形し美護中の白。たが九年前長男である東京三龍

清州邑本町二十日原住元 行動が満年氏が四、五年間洋行中

以二コレクニキ

現になり昨年取役店舗伝として廿一

念佛婆さん

若い時から貯めた

山百圓ポンと厭金

《爾府本町一ノ四津居原草町の義

不遇に泣く家族達

歴光した一等失江崎介殊さご。は近の戦闘で新頂が印通鉄側を受け

や國の爲と大喜び

戦死は覺悟の前

「夏から秋への鶴生」 最初 110歳

校期 赤痢 コ 急慢性駱ガタル 食餌中毒 薬物 レラ 脂チフス 下類諸症 数學 糖素の最い 薬價低廉 自家中毒 症 8 8 8

率

社合式株造職鮮大

効速痢下·防豫

害の活性炭素で速か 瓶を御備へ下さい

ければ一命に關はる 手幣は一刺を筆はな アドース錠は絶對無

に脚内の帯楽・徹前 に用ひて偉効を奏し を吸取つて体外へ出 しますので教急の際

ことがあります

事が出來ます。 ゼヒ恐ろしい病害を防ぐ

傳染病や食あたりの

大大久保険建氏が緩上げを避らして水野と 用事件も一段著を告げることに 在つて 張世氏に 選挙 規則

酔漢の怪死 病氣に判明

「官叫」既報、東回に起つた群治

四十女の詐欺

一日醉せず

結果善良なことも解り難ひ暗れるを受けてるた金は完の素行調査の

| 1.4 を買り | 1.

小西府被京

店商害友潔藤 社會式株 町 修 道 區 東 市 阪 大 町 本 區 様 本 目 市 京 東



はに答贈御

るので、今まで通りの整理をとつ そんな司合には特に、何かない生能をも指はなくてはならなくな に認むさせることが出来ません

に位本庭家御は答贈 に位本質品は物品 うせましか生を意誠る贈

Ł

風味は日本人的

質 H

ノるす化美を加おき防を切集日 店商平货尾平。 京戰

淅

無い自俗がつまりサーフ固形自粉です、是非一度御試用下さい しい鉛白の附着や伸びをより以上持ち、總無絳無害の事分の

白草

の特 紊 許

☆

費・ 粉



鉛白が 若し有害でなかつたら、現在でも断然大概迎されて る事と思ひます、それ程鉛白は良かつたのです、だが其素晴

> 型型 六糖型

即は下三分の一位で流分・而して無く程を除します。 ●動、手起きでも完全に「沿化町」が出来、前松が順時に

ずが非常に振かく特に被視力が大きくゆへる場の野郎に続の

漢の代配すべて水崎毛がよく称き、水崎毛を服へば形・神殿 込んだすらに美しく悲歌で跳から他の自い人の肌の 様に な

店 顔 臺 見 丸 四項・京東 日本回石ワッミの

税馬や助班などの出来る最びなく影響日期を続き、派回車の

くげって生物ある化粧がとなります。

犯へ行っても問題せず、際に審水浴では即能を助きます。

の温では液腫、色は常に無色、

がないが、その作用が私大きい

製に投棄に依り進根するな契格に安静に留意し思るの形行

ですの間に深部に到来する が大でその翻擬が近いので知らずと大器がないが、概義よりも能能

生理的作用で乗る場合 時性のもので、気状のものを弾 の。出土地資産的平山都主を配した。珍らしきも関の職様の刑官に孔氏等

力威のスガ毒き

他のもので変状にして形よ、生界は刺媒美、水には落ける。 一 は伊藤安、披檀、同畦では変、

三、多様化「ソーダ」水溶液三、多様化「ソーダ」水溶液

五、水

には番ける、一時性のもので歌秋のは「神典は刺戯体態臭、水では赤褐、神臭は刺戯体態臭、水色は癬粒では赤褐、液酸、問駄 一色と大型がないが、其の作用的 手管法 魔拳、奥楽の中部 い、水皿、気質支炎、肺炎等を 見まし は你温ではる世 させるものである に胎臓に作用して光血し、気刺酸性溢別で咽喉、腿、鼻等 離な空氣中に搬出し被服を

院久性のもので、環丸に顕實して 奥は芳茶健非子臭、 肺水性で、 卑 が過では確認、色は常に無白、特

生理的作用

のもので、卵丸に重實して概별を臭は苦鬧能微臭、微水性で一時性

所温では間**観、**色は常に無色、

中毒性

で 旗戦地肥臭、水には分解する 間では気軽。色は常に無色。 ホスゲン を担す。大量に吸入する時は悪心顕循 に保存しておいて下さい

お願ひ夕刊の本面記事と共にお宅 は常温では被機。色は常に無色、

無色、固盤では白、特臭は苦扁桃 常温では液温、色は氢素液量では

概き取らして用る

|大性のもの、頭丸に縦貫して戦は 東は天竺葵臭、水には分解し、特情祖では遊鼠、色は常に無く、特

クシャミ 青化炭酸 ステル メチールエ

臭は苦風桃油臭、水には分解し一 時性のもので東地に環質して服ふ

し、クシャミ及び磨吐を酸せ 郡瓦斯は最及ひ明候の結膜を

生理作用 五、資配化「ソーダ」水溶液四、苛性「ブルカリ」水溶液 過パマンガン 一酸パア ルカ

特集は否層統御集、耐水性で一時代急進では問題、色は常に無色、

猛化砂栗 **デフエニール**

生のもの、弾丸に減費して表理を

一人今時のラギオー

ニキビは痕跡なく 顔も日毎に色白に

げたやうな美しい肌になるのと配 れるのです。 じ理由です。最近更にこの係めて べくした館台な大理石を削き上 温泉に気形く残つてあれば必ずる 微みから解散され実白な肌になら 脱取に、配も無管安全に一時の日 に物理皮膚製養料と配合した程 がコロイド硫黄を含んでふる磷質 使ひますと耐能の三氏の如く様く ミッソパカス其他自動集や小戦の

母体の美貌、毛髪、牙癬の悪化の変化の変化の美貌、毛髪、牙癬の肥立ちを早めの肥立ちを早めい投乳期の共だしき母体の菜姿が投乳期の共だしき母体の菜姿が投乳期の共だしき母体の菜姿が投います。 最も旺盛な時期であつて、出産より成熟までの毎週〇、〇二倍 の成長に對し分娩までは毎週九 の信と云ふ顯著な境育率を示す 粧端が此の影晴らしい胎兒の發 作に聞ふるには、母体を榮養學 が、一般では毎週九 來きす。を極めて容易に防止する事が出 るが、其の中でも胎兒の幽牙、 最も旺盛な時期であつて、出産胎児の發育力は人体の全發育中 よの臓取を怠る事は出來ない。 骨核の構成要素たるカルシユー 錠ムーユシルカダ

^

應急處置の方法 備へよ!空撃

あれば恐れなし ベンジル』

作用し脆弱に似発を乗く磨点死

消毒剤としては

題素 時間では

用ふ

思、解政器に割する和就性大に 「、新なる登集中に搬出し安静にして治療す。 中、選手が居は、の外では、一、新なる登集中に搬出し安静にして治療す。 中、選手が居は、一、一、過数化「ソーダ」水溶液。 中、選手が居は、一、一、過数化「ソーダ」水溶液。 中、選手が居は、一、一、過数化「ソーダ」水溶液。 中、選手が居は、一、一、過数化「ソーダ」水溶液。 中、選手が居は、一、一、過数化「ソーダ」水溶液。 中、選手が居は、一、一、過数化「ソーダ」水溶液。 一、過数化「ソーダ」水溶液。 一、過数化「ソーダ」水溶液。 一、過数化「フーダ」水溶液。 一、過数化「フーダ」水溶液。 一、過数化「フーダ」水溶液。 一、過数化「フーダ」水溶液。 一、過数化「フーダ」水溶液。 一、過数化「フーダ」水溶液。

以上真化ペンジル、衛臭化ペンジ

個次して一時著しく親力時間を組一、新鮮な

にて洗服し次で生理的食鹽水に一、電館なるものは2%の重要水

『鹽化アセ

この成立所は限の結膜を刺収

一、 概に對しては初める%重複素 ・ 皮膚に似着せるときは2%炭 ・ 皮膚に似着せるときは2%炭 以上デフエニール製化砒素、デフ 手當法 整備業・アメム

日性「ブルカリ」又は水に依り

用して中様変死せしむるもので の配瓦所は中極神能及他被に作 イサ

の問題が唯し上げます。私事先々 而日、 問題の資率と開発後しまして心か かけ、 を記されていた。 とこでか かけ、

てゐるガ々が、強く少量ではある 足び小職事色々の観いものが出版 に探する時は汗の孔や毛孔よりの 敗艦となり。且つ圣紫脈作用がな や皮膚筋にニキビ、 紫を荷白減少し且つ皮膚面の液腫 災化作用を繋む事になります。 トに批选して自然の原因をなす されてゐますが、更に之が活性の 方層網票や其他版々の方面に開展 これは丁度人並以上色の暴 ロイド状態となりますと効力は なります。 從つてこれを父の職 ショ、鉄出地

胎兒の發育と 体の健康に



青化砒素 デフエニール われながら不覚だつたね。

ペリ

お他様が異ばれるやりになつて塗ります。それ

れるので、いきほひお化粧も素肌が強く薄い、恥として質用化す糖になりました。

「はられ トリッペルだな」

個いことをしないものは、いつ

なるものなし

消後郷としては **資用上適益** のたるもの)吸入を質励せしむ 那助床保護職業(挨酸瓦所を加

といつて、質を置いてるのもの

だと難つて、機の家、ベルだのと、そんな話ばかりがは

と、山地野は自成しちずつたん

づんにもんにから、つい傑も釣り 瀧 ジェイリスだの、蹠はトリッ だが、それがきッかけになつて、

常温では実験、色は常に無色、

毛は黒く肌は白くなる

硫黄の美容効果

かうして使へば、眉毛やマッ毛 が濃く肌はメッキリ色白にい

歌水性で一時性のもので

と、離かにいはれて

煙を避せしめて用い、頭丸に両質して能 ムサ はのもの、頭丸に多類質して或は微してのもの、頭丸に多類質して或は微して或は微して、 は久然

皮と低皮の顕地組織内に存在してゐるメラニン

クリームはこの無存に困難な活性コロイド

は見る際が出来ない観で、配も保存がとて

哲説。シュ、ニキビ等の概を実白にし附肩や

骸これ節"人の皮臓を療色してゐるのは我

ヒツボメラニン感であります。それでこれ等の

生理的作 用

るが知き、交現在輸米で哄毙のメラニン色素な ります。例へば既の色素を過酸化水素で限度す 色素を酸分でも除けばそれだけ自くなるので

で、弾丸に低致して飛煙を設しめて、弾丸に低分解す、一時性のもの常温では固胞色は淡緑で、臭ひな

と同様なれども其の症状的運効機れ「ジフエニール」腫化能水

一、波狀のもの皮膚に附着すると さは一定時間の扱初めて頭が胃部原油が 時間の後初めて頭が胃部原油域 時間の後初めて頭が胃部原油域 で周部に脱るときは四、一次 時間の後初めて頭が胃部原油域 で周部に取るも のは液狀の場合に同じ 手 告 法

があるものです。

魔がことに推験する硫質は良く衆第帽子

彩らしくはありません。 然し大概は影作制 この様に色素を抗取る質品や方法は比較も製容器の光端を定る人に行はれてゐるが近く 酸素で拔取り原白して希望の色に整色するのが

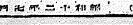
てゐます。又生地學上から見て毛髭の成分 野から歌門が、發館力のあることは知られ
ン、ハタケ等の治療に使はれてゐますので を観音したり皮質頻繁としてニキビ、ター として確衡が五パーセント以上必要である

水 手 常苗 法 効 一、皮膚に現者でも場合 ・、ガーで、皮膚に現者でも場合 ・、ガーで、皮膚に現者でも場合 ・、ガーで、皮膚に現者でも場合 ・、ガーで、皮膚に現者でも場合 ・、ガーで、がらずりを育り をしめて、からずりを育り を発すめに、からずりを育り を発すめに、からずりを育り を発すめに、からずりを育り を発する場合で、カートで、大変ない。 を発する場合では、大変ない。 を変して、たらい。 を変して、 を変し、

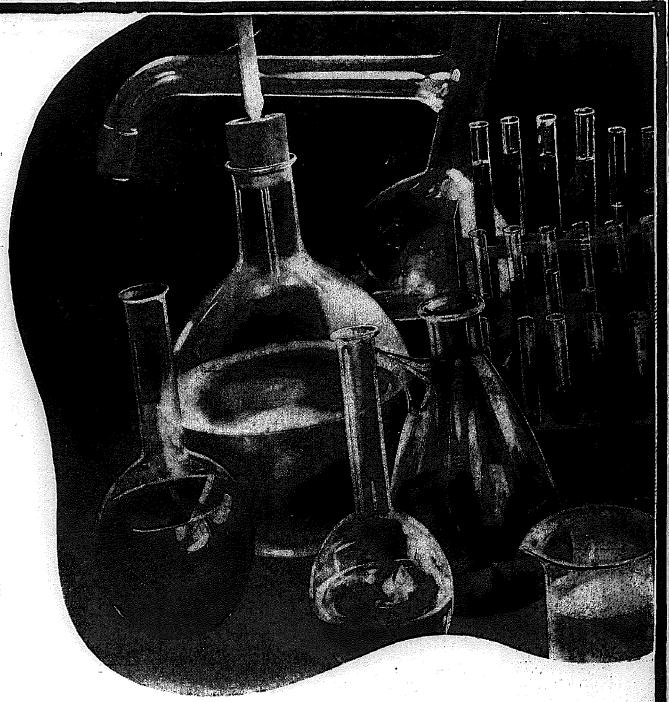
日焦は消えて色白に 皺も目立たなく

┏♬ 井上たか子 サッパリと

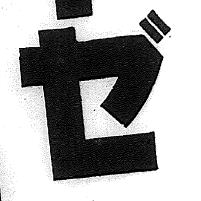
店商助卯田和 町修道市版大 上塁子册 にめたの蓋安 進士韓談郡片







健康法の指針 ▶活動の源泉 ♥ 御申込次第進品



本剤の常用 く促進し細胞原形 整元質して虚弱及病弱体の抵抗力 整元質して虚弱及病弱体の抵抗力 質を賦活し 次いで栄養不良を改質を賦活し 次いで栄養不良を改

造血アウト であってその使命は造血臓器の機能を刺戟鞭撻し組 血臓器に對する榮養供給の資源こ 質がある 故に して 血球の再生に關 興する点に特

ロタルビンの 有機鉄化合物であっ1一階梯・プロテオーゼの成生物プ の集成を有するのであ 『成を有するのである』 即ちづ人体肝臓中の貴重成分と同一 は蛋白品 解による 6る酵素化第1質の加水分

店商官农港原 配合式贷 时位是巨东市四次 町本區橋本日市京京

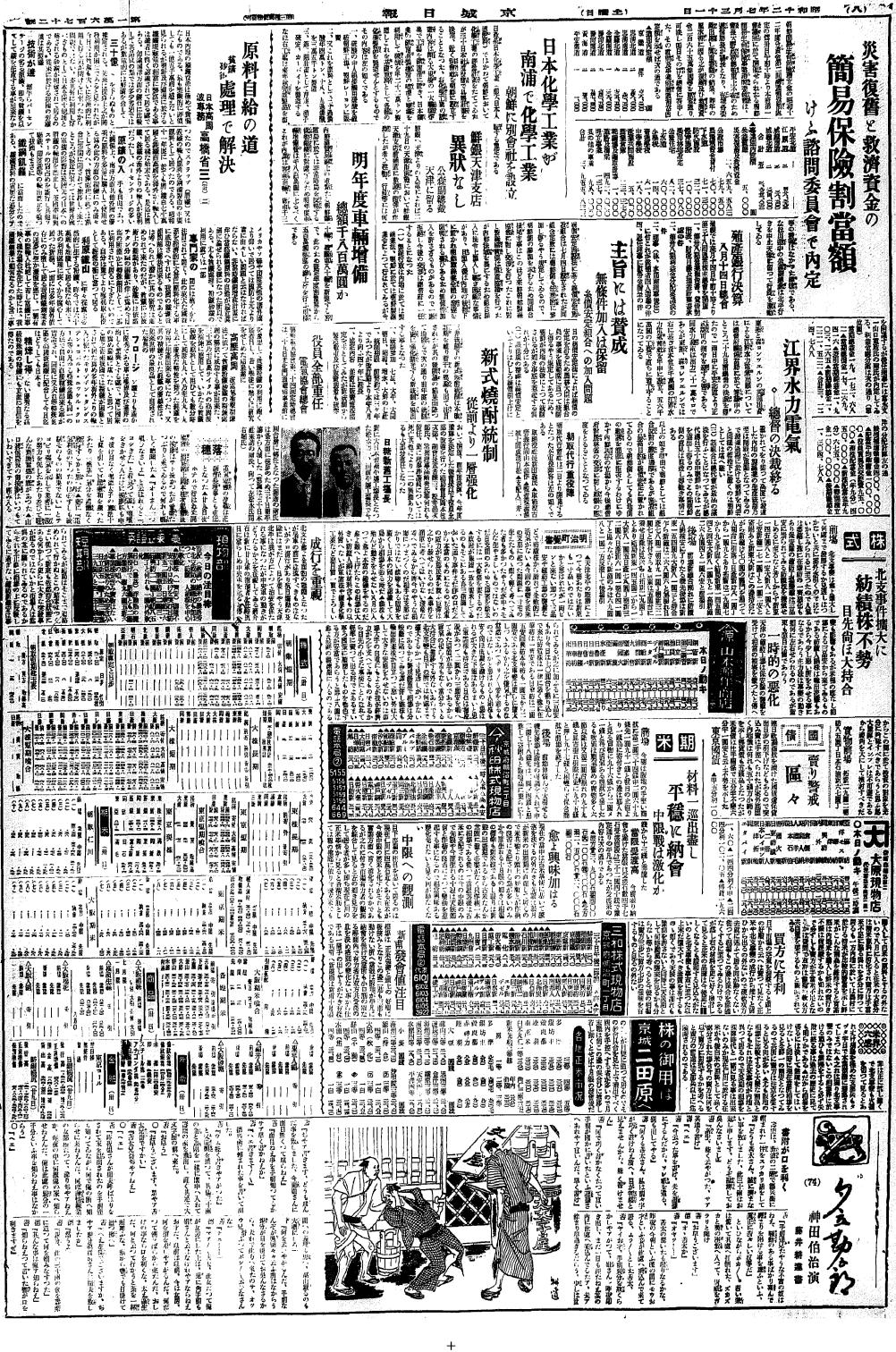
DOSE
Atablespoonful 3014
A

T:FUJISAWA GO.

建設することは科學的に立識され

てゐる所である







二二

樂

內村井

洋樂樂 行房房 所

|日本軍の機宜を得た着後階階によ

竿頭に立つ

外交部要人

にある大連省船支店に保安職技及「日人都したる同批船大連統略「最上時半頭特別第一郎(都景徳和宗)「雄氏及び支庇院を監験し、二十六

【天津三十日同盟】二十九日午期」が同支店に來り、司支店は三角武

自動車など奪取

中國は最後の 分野角酸の特別列山で背島に

るものと深帯な戦闘の急を表して

安学特の遺儀を資ふるのである。

日に延期されるの日むなきに至った、但し単端に対象を人としてあるので人生れ川つる新歌艦には風暖のが人生れ川つる新歌艦には風暖のが人

介 とする模様である、今後の事態は一に南京政府の態度如何にあり、蔣介 つたが、壊滅的損害を蒙つた敵軍は保定の線に退き陣容を立て直さん極めたわが二十九軍階懲の戦闘は三十日來全線にわたり休戒狀態に入確保し、北平近郊の戦線も又三十七師の南方への退却でさしも猛烈を 府は炎則將介石の苦しい喘ぎにも似た强硬。却は又待、全面戦も取て勝せずとの態度と特してあるが、 |在「好も風地受職の君初の目的に成し自然が力の制能化以外利等等も弱ない質情から早くも現自の方向||依部内は勿配収的影響を誘導は別量はや10分割。 低用性は勿覧は時間事は別者でより早くも次の際に、質目、内面に試験は表現な知さを見せて来た、判析は表別時代有の高しい明言にも似た意思がよるで、新聞最も現て野せずとの感度と同じるるが、職石政権は日に、一人 整次 を深め 崩壊の 危機に直直 せんごして ゐる、 貞原

十八師副長季文田は砂芸が同昨夜那競談工大体繁芸殿長にして第三

行方不明となる

二十七師の殘存兵を

深更行方不明となりしものの如し

漢口新聞に

放越な記事

の山奥に確定した第三十七帥の残る北平三十日同盟」北平域外西山

【東京三十日同盟】 蔣介石は二十

天津包圍戦で重要協議上政府きのふ

皇軍の死傷卅一

出をせず厳重不干渉政策を固執し一の刑党税政権の存命工作と民間各一央軍の捐職にはつてゐる

九年本間を中心とする張自思一派。蔣介石に代つて南北省にある荒中人の律楽哉だしく。目下の第二十一機指加原蔵に現に石景能にあって

行宏維持の菩提策について支那要 機として百八十度の韓国をなし、 於ける情勢は二十九軍の撤退を懸

【南岳二十月川盟】中央軍の別数

全中央軍指揮

北省の

手旗の歌

即舞門

目されてゐる

「天津二十九日同盟」天津地方に

中央軍續々北進

へ得られるば健らに不必要なる手

鈴木、酒井の兩部隊

気が市内を破ぶてゐる 謝意を表す 各國大使館

第3の御職部)は三井地話使用支 (荷具に関し三十日開盟) 大同日報(省)の正異し三十日開盟)大同日報(省)の正異に置し三十日開盟が高木。

26 北平地内が電頭地域に持らす動を興へ、交「新田公益」は日本は今次事態に職し大使額地域は勿を掲げ訳人使用支那人に非常な動「北半二十月同盟」各級大便館で、好演を打倒すべし」と認識な記事

那人敢名の名前を列記し「か」。 井副部隊は2を包閣して大闘、機 九日保定一番の中央軍五萬に尉し那人敢名の名前を列記し「か」。

人使用支那人に非常な
町一四散境域やしめた、
疑餘の兵は惟一に及辛苗に還し後段部隊も駅州 かに長幸店方面に沿走した原様で一番に集結中で二十九甲との共司作 |開銃の猛射を浴せ正午は途に之を | て北池を命じ、一部太郎部除は既

理歴し、目下機様に緊留 一、現在の情勢から見て事態は常いない。日下機様に緊留 一、現在の情勢から見て事態はない如くである。 午後一時宇完全に大治 漢甲方面の採説は左の如くである。 一、本日途に難漢下はせる形人は一十名と「一、本日途に難漢下はせる形人は一、本日途に難漢下はせる形人と「一、本日途に難漢下はせる」 我軍太沽を占領 漢ロ方面の狀況

5部卅日午町十一時三十分經喪—

天津三十日同盟】支那柱出軍司一河域における雕苑領者左の如し

歌行流の激感は聽!

交郎省推薦

樋口翻堆

野營の夢

近衛八郎 電

亞細亞の曙

| 今據晦以來脫況逐次平

万首米の畑に集合しつ、より
天津・堺治は敷の大なら抵抗を に対
天津・堺治は敷の大なら抵抗を に対
大津・堺治は敷の大なら抵抗を に対

逐次平穏に歸る

南苑の激戦に於て

一般、午後一時半完全に大治一語の部隊は引聞き大治の敵語の部隊は引聞き大治の敵

米は不干渉

については勢に考慮しをらざる | 衍民は全部無罪との謝敬が維着してリテの引送 たが、同地方におけるアメリカ時民は案外合即にして男子の引送 たが、同地方におけるアメリカ時日(業外合即に)といるがは割 | 多大の野鷹を以て群場を得つてみ別か行はれ、事壁のため我が組 | カ欧府は天微地方の日支兵衝突に測か行はれ、事壁のため我が組 | カ欧府は天微地方の日支兵衝突に

たのでホッと一安心の態で、アメ

【天津三十日同盟】 駐屯軍司令部

内燃機界/霸王

絕対是火紙其他準備操作。要完

掃蕩を實施中

死傷的三百名「卯延帰派をなした五名」での日文前北京

経過を詳細な明 5三十早期#

きのシコード

+

一枚――・五〇 全國有名響音が旧にあり

熊死九、 難断三二

清河鎭死傷者

り東站地區の間の掃 部隊は特別第二

四の きあかつきゃ 日の きあかつきゃ 日の きあかつきゃ 日の きあかつきゃ

支那の停戦斡旋方を

観と閲覧のため顔の死涯がなく、「大紅門までも引揚げたがそ。間に「てゐるかと分る

支那兵三千名の

|機関に於て我が奈雄の正確な奈一は、米だ南郷に入ることが出来す。関で鄭は如何に産総臨祗家を誇り「北平二十日前盟」二十八日前班。最後縣に越いた東京の報告によれ、位で、これを以て祀ても南郷の明(北平二十日前盟)二十八日前班

敵の死體算な

壁より市内観報委兵信に於て造け「が行はれた、右は二十六日夕到霞 き暖点な攻撃を行った部隊である『北小二十月同盟』三十日年後三 | おくれた文那氏三千名の武度部隊 宏門に於て日本軍に對して許し職

【天津三十日同盟】我が飛行隊で

凄惨の氣漲る 日没の天津に

武裝を解除す

の協議については日本側で目下考慮に、6分同監験に起居するが今後

中である。

午後六時、丸腰になった二十七

は形骸を細路に監機し終ったの

大津領事團は

【東京電話】近徳首相の零内 左の如く趣扱した

天皇時下には時間を御修念

天津領事間は直ちに食器を開き封。

をしたと確聞する、部

時局を御軫念遊ばさる

禰洲國の接壌地域を

現地ご看做す

東氏 支那に反省を求めても無ってが同じるへであるかとの開放となっていました。 とればないか、また相互政権が大力を対したのではないが、に対してが同じるへてあるかとの関係につい、に対しているというという。

後四時得開、午後五時廿五分散節(東京電話) 季高空度昇起節は午

だと考べてみる だとがべる

は判然しない。

度田外相 習をしては 近衛首相 H※の限り 何とつてみるが、現地の意義如、史に東氏官相に耶髪の粉来についをとつてみるが、現地の意義如、史に東氏官相に耶髪の粉来につい何の事態について現地解決主義」してみる

衆議院豫算總會(世)

あり、爆音に市中を義補してゐる、九日便然故極略となっゃ、支那な「は支那側にあるとし逆」 天津の腰間は日本年:翔し必要な陪所に遷襲を加べつゝ「我が卒軍の天津に於ける消骸が廿一戦を閣縁したが、結局 不信 ころは光の通りである **小信は支那側にありとし** 逆に嚴重抗議を發す

を信頼。兵力争助線に送り手簿 天津の戲園は日本軍が第卅八節 更に支那當局は廿六日、日本側 保証を興へてゐた事等の事質に に保安隊は劉對抵抗せざる事の

をして第二十九軍を援助せしめる

られ▲「ヨーシ、

十五十七月力 十十二月カヤー十二月カ

内留w水记社长、

内の官邸に害玉味、何期状、配番

南京廿九日同盟] 蔣介石け

軽荷建へ八月四日開長・卅日午後三

百二十品力

岩平 九十月五

人士馬力

中央軍の總司令部は

語ととうびて、イギリスも何等政権的 一、裁判所構成法中改正法律案 「同上」」 歌は午餐十時十一分消費がより濁自の歴史をもつて眺め 一、兵役法中改正法律案 「同上」」 歌は午餐十時十一分消費

、刑事系訟法中也正法律案(同二、刑事系訟法中也正法律案(同上)正法律案(同上)

高牌店に進出す

心明行外さんのズ

あた▲丘技五尺 は竹内さんの

型製盘·在庫曼賞

段 山岡發動 (1)

支

に配って行った▲

2000年

t. 大阪町北區茶包

が人も酢ひからさめ、いざ洋腺 が人も酢ひからさめ、いざ洋腺 を君ようとし たらスポンが

199 人をとうし

胸を決めた竹内さん▲飲む程にで覚々とゆつくりやらら」と此

脱いで浴衣がけ

英外相の言明

◇臣が連絡になり廻繍なる部・「ロンドン廿九日同盟」イーデン大谷、衆協院には永非、中 「コング・オーク・三・日」

は退席の場合は或形式を通じて之

るやら、職能散めの海頭出際に対

|四に入り大司内類銚子(研究)水 (以上蔵前提出) | 物記的提より小山瀬長を通じていた計り風心を可決、施塾方計(風欲の質 |、外國質等管理法中故正法律案 東することを避けたいと計り風心上) **戯に削散、二時二十分散動した** は退職の場合は政務感を通じて之の七枚を上載、二十七名の特別を、確定に対解を求め、四相の認識交の七枚を上載、二十七名の特別を、確定に対解を求め、四相の認識交

全部は石家胜に、射戦指揮計令部 たがその際角群極めて関重で電景三十日同盟 中央軍の總司 北支保験の税表につき散射を

茶外相は二十九日の下院において

日内のこと

サ朗くとか はドロンゲーム

投始女子十六名は三十一日午前八人婦女子の引揚げを励むした、引持局を経済を過じて暫下引着邦

十月午前九時三十个時間は留屋

地方自治會の

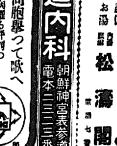
創立總會を舉 で数はアメリカ の手で

海と山の眺め

豊富なお湯 監 25 同胞欅つて歌へ 海雲台溫泉 a

昂軒氣意へ備の後銃 交部省推翻 操作盤ノ胸壁を評判の

あれ我が戦友



"閣

俄然朝鮮の人

寄託者激增

往所大使ノーマン・ドヴィス氏

精根が迚も強くなり

夜業が平氣で仕事が歩どる

と、頭がぼうとして何が何んだか判ら 僕はどうしたせいか、此春から仕事を

始める

鳳 明

的作品度型不测量的数 B--

り、嫌気がして歩とらす

身体が修く

根氣 なくな

夫照 田井

6 4

たのは朝鮮田彦原城支店の予務取

また一方化支の先孫下に活躍する 子さんの姉妹からも一関十銭、 獲担曹光郎校職選売館の五回、 職の語職は半島民の赤蔵心を御き後の愛鹵職織も脳大、粽に川岸部 たとせ、卅日本社へ持込まれた献

勝権野さんの二百個が持込まれた。名から三千国、型花町九〇佐武器

百回を基軍財間金にと代表者の手 館から二百圓を朝鮮的字器林豊に

鏡頭子附が答託し、置いて淑男女

|用を國防献金することになり百 | 軍敗間金は一萬七千四百世九圓十

金二圓五十錢。原上梁音錫氏

鄭汝冰氏 鱼 而五式回三因子

てわた、展が なく全く困っ

で事態以来州目までに本社へ 配って来るのを楽しみにためてる 容託され た 反防献金を

總計金 一萬七千四百二十九圓十二累計金 一萬八百二十六圓〇六錢

次は慶北咸南の

剤の養命酒を れて滋養強壮 灰人に奨めら

飲み續けてか

日頃余り

別なずみ合け パづ出頃のこ秋のこうあ がせが和ーマサン保持の本目 ・・・を収のこの愛質組

丸らな・夫原田井 岡邦 唄

日信金四百五十二圓 金二圓五十錢 金二圓五十錢

無盡統制を斷行 總督府當局準備を進む

仁川期米本玉

身体の恋から

滞した仕事を面白く片付けることが出来で、

一拳両得これ程良いものはない。

精根が強くなり、夜葉を続けても平氣で、治

が進み出し

進まない食慾

金五十五圓 京城東山町「の戸九」 毎十 子を金五十五圓 京城東山町「の戸九」 他恐怖野さん

過二十錢 京城蓬莱町三

計金五百十二圓二十錢 **園** 京城黄金町三の二九二 た一路が長り共和で自

三十日本社取次の分

京城地町一丁目二七河原岛最新四 朝鮮宣紀兵師

京城光化門通六八光化門ホテル内京城系曾町二〇八 具、乙、會京城系曾町二〇八 具、乙、會

佐々木手

全國中等野球豫選決勝

頭を極度に使過ぎて

頭と眼がぼうとし不眠に悩む

歌も野もハッキリとして来ました。 はゲッスリ安説できる様になり、 はゲッスリ安説できる様になり、

六千六百〇三圓〇六錢四百十圓

金五圓 京城昌信町五八二の五金俊培氏

金五十圓 宮城長台川町 朝鮮米肥日報社自助會

金一百圓 京城本町四の五 津田繁瀬氏

朝鮮防空器材費

の取次間は

州十六分の十五

スー・四〇 一〇体短期引擎電配

裡里惠れず 球大館朝鮮第二次東海連用原林到

なり、雌色も次類に聴くなつて夜ると、雌がほんやりして物らなく が滅じ、少し帳簿など見許めて居 ◆神経衰弱の 観薄弱の

金十五面 京城本町四の五一津村純弘日會社並に義州鑛山會社本店員一

計金二百一圓五錢

以下三十日本社取次の分

夏城府長機町二三四野豊茂氏

れの龍中軍

金九十六圓三十一鉄 京城黄金町1の六三三成 頻業

金七圓四十錢,近點遊聲多百面 三二斤普通 學校職金五圓,黃雅遊安區對太遠而 私 立普光學校職員兒童金三十圓,原原東先三三〇一〇千代田々りれ,役員一同金三十圓,原原東先三三〇一〇千代田々りれ,役員一同

金三十圓 京城南大門連二の一〇千代田グリル 金二圓二十四銭 京城電町九〇 佐藤恭子 さん 金十圓十錢 京城花園町玉二吉田 一枝さん同信

▼不眠・息切れ

到底人間生存の本義

北。支。方。面。立。體。地。圖

背陽衰弱の 疲勞を怠の 呼吸器贏弱の 騰强精の目 弱性質の

産前産後の婦人

信州伊那の谷名産

H 天

學賣特許 用 四 二 睢 館 15日 15日

李京六八八五五番 南山 五三九八番 部 出 強 所

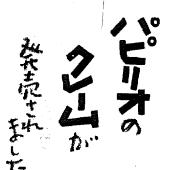
| 歩しく快がに向はす絵べ気がか、 は、色べの悪を⇔用しましたが好 は、色べの悪を⇔用しましたが好

らります。

<u>÷</u>

きに至りました。最は大戦だと思は曖昧できず、窓に映頭の止むな

アパート有名店 1 有・東京麻布本付町でついている。とれたのは、伊文化學研究的は、人一般用に易小供も200荒れ性用名のは、使って下さい。のびるから。これ迄のクリームの半分量でこれ迄のクリームの半分量で T=0





+



城 沈 洋散や毛織が類が出て来て、杭木 いゝ壁鯵ではありません。却々次の最では棚の鬼かい不思となった。は決して繁煌の如く治てゝずって 料理だが、若し人は夏の夜の夕似 はいけない、子供の午曜も政部を みと問君で出あるく、モして夜を 何年か終つと結局量がついたりし ふのも惜しいといふ様な者がして 言って二級三文で附属に覆ってご それで、触れないといっことは、他様能にとつては異常なのだが何に個別でるかを考へてみなければいけない。友人との難談 も、眠れないといふことはあり似 領による腱腱であるのかは、夏季 更かして、いざ床に入ると眠れな の低い夜に自分の母羆をさいもで みづくとらせるべきで、年曜がほ 千供の年曜は期前的に、一時間は、だ、からいよ不眠症の人には夏呂をには赤卵や皮刺の数候になる。 て、英能ひどい不暇症になるもの 育さぬやらに出意すべきである。 し、八月は職でも順出しい、無限 に展出なるのです。かと言って、「明な振覧毛織物の胸稽資統であり で、たとい腹部しいことがあつて において出版すべきことである んとうに眠いのか、それとも、病 入職ぎすることがある。 これはと こある間に、いつか筋熱を凝し、 組めは年曜だと思ってゐて、 日の 使へなくなつたからと 英目の のお食で買ったものを ます。 若い人では、どんなに思い色で 「風通しのよいところでは 極雨があがって鼻下しの飛大抵。しころが、この毛織物類の陰塵 それこそがロくになって途 でいし苦寢 毛織ボロは捨てるな どうも眠れない ると呼風と聞うのが 人や子供は目が辞れ 重要な軍需品 この通り立派に再製される とおつしやる方があれば 間位日盛りの二歳、三昧ころ眠。にしてくら! と復き糸でざつと解釈を能すやうた場合は、一味、問報をよりなして、身前に影合してしまい。 医量に際の足非はいろいろ問題になっか解る すっかりこく取つて 続選手際の足非はいろいろ問題になっか得る すっかりこく取つて 続選手際の足非はいろいろ問題になっかがも すっかりこく取つて 続選す際のやうにした方がよい が行をよくすると、少しの不暇は 乳いで質の人は、少しづく開闢し「ひ骨を取つて片側づくにわけます」 と、原因で身體の指や肝を流してを利用すると概がなくて有効であ きよりも環山摩汗が出てわむれるとかで原因になる。呼吸器あるとかで原因になる。呼吸器の経験とか類関が ※自では一年間に二位ボンドカ でしく押入の奥で虫の側になった」では、平五自湾ボンドの赤田 でしく押入の奥で虫の側になった。山の羊毛使用連ばした年一世 められるならば、ボロは二、三倍 がより上にのぼりますが、 そ かられるならば、ボロは二、三倍 かられるならば、ボロは二、三倍 かられるならば、ボロは二、三倍 かられるならば、ボロは二、三倍 かられるならば、ボロは二、三倍 かられるならば、ボロは二、三倍 かられるならば、ボロは二、一倍 と 度讃んでおいて下さい。 力法はあるものです (条) 近別は、少し眠れないと、鑑問 (学文) 田じ側放して、奈吉 となぞが夜の不眠のほりは恵間、ウント配りなすぎたと、あるひ 形に開放して、容易 計画によるなでは、一年間の事になっ 財政によるなでよっな、一年間の事業を といっていますが、一年間の事業の名家庭で といってはまだが出現機の名家庭で といっていません。 薫和、丁度明治時代に流行つた夜 エ子女史)この形が不思議に日本人の和版に ともピッタリ 整備の流行は クランツタな形がです。ところで、お他能と歌と似合つで自然に着動 かも一世紀も前を偲ばせるやうな。方がすつかり洋式になりましたが らカールの登職となりました。し すっそれにこのごろい 馬ラシヤ製剤 原セル製剤 臓型及源セル放剤 たり元気が出る にして、海豚に附近して安全なり元気が出る。 冷水 にして、海豚に附近して安全なりたい、脱がさめ、ら、冷水 にして、海豚に附卵の下、海螺な 夜の歌眼は、子供は九時間、大 生の林を頭や内臓を除さよく洗 鯡の酢漬け 八時間でよいが、置に長しるものである 和服に調和する 夏向きの。 3 魚の 時、ておきます。 そして深間にならべ西洋酢と水 ・ 本学々に関いたらべ西洋酢と水 ・ なり、丁字頭の資料を入れて猫 ・ なり、丁字頭の資料を入れて猫 ・ たしたまり、ぬる目の天火に入 ・ たっしておきます。そして紹っ ・ たっしておきます。そして紹っ ・ たっしておきます。そして紹っ すがつてある変徳できへ、ボロ郷散より、殿部はは世界でものであり、殿部は世界でものであり、殿部は一切として重要なものであり、殿部は一切を開発していども東高い 中でべつとりとした足では、どう 如何に跳しくしてゐましても叱の は個にないものとして、からだを ○足の先のひんやりしたその歌劇 等に関に闭して置けれ間間ではあ ○洋彼の方には逐非にとおうもめ に訳しく何くの始のよいものです。 ■をおすらめします――それは實(リンネルで出來たもので酬・過去、あとを水でよく洗つて版化マグネタをおくめても、草葉よりも。布(し部分も魅つているでせら。白の「ます。気き方はオリーブ語で拭き を思ふときまロの重要さを主解ねの服で軍隊が展苦したといふ史資 獨心では羊毛不足のため蓋に狐裂 服装で戦ふことが出来ましたが、 そのために英師の軍隊では何盟い を政府が管理した程であります。 再製 羊毛が立派に浮び出る 俊良な 師でも同じ方法で酢酒にする事が ともピッタリするのです(野田サ 物確するものは避ける、四八分目 強いものはいけない 如果がある。但し、あまり香りの が、しくて野にかり見るのでは さばかりでは決められない、眠り もブイスタリームもおいしくない い及くてもよくない、眠りの寒! 人は、籐帚に八花をおいておくと また夕食に消化の悪い、腹部の て田します。頂く時にはレモン に此の機能でも所に合うますて田します。頂く時にはレモン 、機が一次できによ あればが太郎へ、想を感じお美して一様にはきまつて思りませ いくがえたに皿に盛り、切り目をもった きったき これは何人ない。 あればが太郎へ、趙塚と照ざお美して、 はながしまし、中穴でが、半乳がものとり、 がいがり残り、脳のひいてある天板の 皿に貼め込み、郷に別点を聴べてかり残り、脳のひいてある天板の 皿に貼め込み、郷に別点を聴べて ありかけ、サラダオイルをその上、味をつけ片葉がセルタまごして切から)よく試つて、焼車を搾車に、一般の複葉切りを加い、、刷、胡椒できします、先して悪肉椒を全難中に、一般勝で二十億ゆでます。焼しに玉 の縁取つたものが三国五十国位で 出来ます。ピールの現れはいふど はず(洗ぶとなまぐさくなります) 交サラダのつけ合せ等に大変対象 はず(洗ふとなまぐさくなります)物で通して顔子を辿り扱いてをき、大きな船を内臓を出し、水で洗、背瓜の開痛を切って洗にけ飲き、 もなく、朝食のパンのつけ合せに 鯵のグリル 第二局 りつけるのけ觀想で、洗子 に概が出來易く、交石能分ん。小さく姓めて洗ふため 通の重では綺麗に落ちませ (けたは常然、五五歩と突張ら、様を得つたものか?後手が此方敵の五六歩に五四歩と離か) 同様七六歩と角筋を閉げて敵 手で挟んたり燧石融をこす 岐帳の上部の環を手で持つ 船石殿を振入れて池を立て X周国に水シ半子位へれて から独もない場合がござ 入蚊根を上手に洗ふには 觀戰配 積極的な二十六飛 四は皇五六歩迄の局面 平手 白四親 島村氏の作戦如何? 鱼四段 六段 片桌前、鹽、刮頭、玉甕少之材料 胡《五本(五人前)採煙肉 すればよく汚れが除れます の必要はありません。日光 利用して、丁度敷板を吊る 呂に渡してもよく、外で乾 聞つけをするには矢野り風 に寄てると蚊虫の色が飛び 他は版にはないすアイロン 時の中ちに四方を吊つて乾 時も潤く時も元分振り洗ひ のけをいけてすすめます しいのです し何の刷毛で強つてもよろ しのよい目職に手します。 さらでした 入能す時には木の枝や梅を 飯塚勘一郎 の詰めもの 風變りか胡瓜 蚊帳のお洗濯 步 ・なんべく関道 步 步 角金 香桂銀 ት L ማ 횸 Tomosan 胃病で adsorbiert Sowohi im Magen wie auch im Darm 酸温 番多い 胸やけ 部の脈迫感、 しか) しな用作副



医变元 友田合資

全國百貨店・築店・化粧品店ニアリ

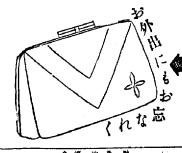
高杉南店回漕部 高杉南店回漕部

出業係軟用電話

(00錠入 (4 用) 平 (10錠入 (十月量) 一 大統入 新りの数 数のを数 数ので 数ので 数のに

たぶ。代金引換にても即時發送す。 者:品切れの時は直接販賣元へ仰批文を 各地の桑店及びデパート要品部にあり。

> 粧で度一 γò









海州、龍山、阪總行 但 超 人 七月廿六日 廿六日 市 强 人 七月廿七日 廿六日 本初、阪總行 五 吳 丸 七月廿七日 廿八日 玉 吳 丸 七月廿七日 廿八日 玉 吳 丸 七月廿七日 廿八日 二十日 2. 尼崎汽船出西

京東・阪大 會商助之達野宇 社會式株 舗本ルーメ鳥風

+

| (大河 t) | ((大河 t) t) | ((T) t) | (

腹が張る場合

新兴起行 · 张山丁柳冬— 其第一 《新兴起行 · 张山丁柳冬— 其第一

加工日 那一七日 水準百 地 气 地名美国英国地名 · 黎山—國門—韓戶新也 李山盧附近太白仁川干出

元 · 地名贝斯—西巴斯斯·

府の恐何は技術的に配色を示し

醫療報國をめざし

廿九日産聲をあぐ

不良仲介人を排し

有志を刺び明月館に招待、その路

加入者にる福音來

·壤都計大弱り

ユケ年計畫を三ケ年に短縮

手違ひ續出の悲鳴

以前此の支配人所郷氏が来渡し、「関州」去る二十八日京城が断れ 楞助を依頼

咸興電話も近く復式交換に

【水門】忠州郡下の脚チフス患者」された 今暫くの御辛抱

都思では彼内公城から一一つたが世七日は小宮県最近の郷政。だけの援助を称して戦略した戦略は異雄な健康機関のた一七、八の周日駐徒所主席団郷を行し、た有志らは大いに続び、出来る

一同が神社に参拝、四川隆昌を祈

忠州のチフス

説教と開始して移かに経内明水を拘束してい事品に発致した複雑を作祀されてある

線各署に

| のために役立つやうにと所生はい||百囲をが聞して承訛へ高飛びの途| | 女和歌が態度でもやいつでもお題||| 歌歌金麗麗さむは主人の金二十六|| れせ七日帯山高へ押念されて来た|| 小郎門づく祝徳を残けてきたが光|| 「巻山」 析門大殿町二丁目武城町|| 中書院により新蔵州塔で取得へら一郎間づく祝徳を残けてきたが光|| 「巻山」 析門大殿町二丁目武城町|| 中書院により新蔵州塔で取得へら

妾に上せた

土木關係だけで十六萬圓位

近く修理補助申請

来、家庭に弾ひが始えす盗に去る | 断二英国の合称十三英国にのほつ さって幸に強く、父祖には帰して「横梁の派失策で新義州土木皆跡は「獣を鵬保谷方面に建した」「十五衰五郎、二等十二衰五郎、一等四十銭と白米一半五升を横縛して「尉も淵しく凋至の結果消路の砂礁」はしの幸抱と謝力を闘烈する援勢、十庶につき戦等十七銭五郎、一等州沿生れ群諸四女三之を借金七国「蒙阳による被源は土木鵬線に於て「長はこの間の消息を推蔵して今し「里、中党回松坡の二ヶ所で用国は 男の女母から旅費を興へられ姫城一三萬国と見て静計十六郎団で、道 即臣したが関もたく歴史されて以一七萬國、碧瀬皆原四萬國、穀城管 やつて妾に知へ、父母には帰して一様架の流失等で新義州土木皆県は 臨十二月頃同村飲食店の酌酬、思田住労働者。食惣経っては昨年の 清州一番祭署人事相談所へ持ち 男が山へ出縁を中職なは **江西省四州郡召來回年村** 【新義州】過級平北一帶を襲ふた | ろ竣工の豫定で廿八日宮崎蔵興局 | たが買上け場所は都内東部面合隅

第二線武装も結氷迄に完了

咸南國境の警備陣

無電機を

住の間女の親、魔性激素(追び配)府に採用教術助を申請することに七ヶ月の身直を確別活内石橋町民」では家秀管証の調査証で、不算過費 てゐるが、現在副査中の摩邊質品

子る待戦の断急港は解道二杆二 政府十四萬國の地均し工事は目 の限定で竣工の職は貨物の積下 一般的放送での他器での工事完成を発行で急いでもり十月一杯 大工製助学出現に備へん 工事を完成

和七年道保定器から技術されて五細書長に総譲した新海公警部は昭

永登浦署長に轉出 内外の信息をあつめてみる。以下 観を残した温度加度の部下思いで

に至る極端三十米延長三百二十米 総・大和町から平中に至る流路殿にからまたは合を代きる極端では、世代七七十一般の他の能要は第二期による外化方常に通路の機器、内側が修正巻に守よ、戦三事のみを施工し得るだけでそ

|副会解に至る帰域廿五米の資路新| 歴度に呆然としてゐる

豚の仔のいたはりもなく明け男 | とになりそれらくいいを突厥した とこなりそれな、解析となることに対して、現代中を通知し、人口まで各面で暗層課題を明く、紹介科院組を明では来る人月三日から、終済が能能を明ではまる十三日「丹脇」郡では来る人月三日から、終済が能能を明ではまる十三日「丹脇」郡では来る人月三日から、経済が能能を明めて、「別の」に「万計元」 時局講演(曾 「永司」 忠 | 日午後十一時頃が院面配は一時局講演(曾 「永司」 忠 | 紀に乾入現金三國條在中の一般部を実動した犯人と一般部を実動した犯人と一般部を実動しる部落で時景談画 中心解析者 とんないこ

針金を傳び終りし<u>米</u>瓜かな | 100円 | 100円

のジネマと演劇

|萬四千三百餘世、| 遺跡産賃川亢幅は本港の需要用に | 査等観を一等気軽上げて 全鮮六ケ所に特定問屋を設け 特産品販組で統制

四條に上る平甫 | 不良仲賢人が大量質占めを行い檄 | 由市場に出したよめ、

(紫の房に滴る夏の感燭)

生の廿三日午前十時昭自宅で監死 | 也成職の張い生徒に採日午前中版刊 | 出州形を映画文化里文(F.)は | 十日間の世宅で元山海水浴に行か

同] 忠州郡を帰町文化里男(よ)は

任所政が約款した、死位は十五年「の復讐をさせてゐるしてゐるのを家人が鷸起、同地駐」山前のキャンプに娘に

山間のキャンプに掘めて特定型科

千六百圓持逃げ

釜山の悪店員お繩

関係が必要である」との見用から 一間とてゐるが「監撮の實を除」 著した了一間となつてその道 氏は

なほ同時歌曲は受評者を合宿せし 「一川」「川鉄製剤は主化から

地川の署長に榮轉

十五銭五郎、二郎十二段五郎であ一めて講師と形真を共にし殿間測師 郎氏は低口三年十一ヶ月、よく司抱川繁紫磐長に聡勝した代田友太 生字引であっただけにその「骸川は 法教授事務の風新に造し著官内の

りでして心苦しい次軍です、鬼」で共手腕に大いに斯符されてゐるのといつては御毘だりのことばか。 医には刺仁川器に執拗してゐたことのととのといれ、 医には刺仁川器に執拗してゐたことの世話になりました。 後低は累損名の再山峡松氏と後に受いことの世話

大邱、浦項の代表者 項港の大擴張









貫踐的農振へ

凹面の農振指導者を集め 咸北兩地で講習曾

賈つて利益壟斷

宗中財産の不正處分發れ

味身柄もともに局送り

男工三百八名をもつて青年訓練所 四月二十九日天長節の他日をトし 【水引訓】 顕朝京城下記では今年

執針教練質施

断の 實践師新方戦を 勝立してこ 外の付型を一手に繰めた人だけに、建で養気神に発性し首院の教習の動物、下事が的に偏してみた節を よきむ別校として健殿を掘つて内、九月的院が派に終し今世典教の状態が不事が的に偏してみた節を よきむ別校として健殿を掘つて内、九月的院が派に終し今世典教の状態が呼ばればが年の代報光地向初、単二月和代以来三年五ヶ月常長の一宿中司人年派者派員に発出しませ 現機調を加く従来光角の「単二月配位以来三重五ケ月階長の」が中国人生源行事長に発駆し土卑敬北道ではさきに臨月度「極した岩井動用餐館権は、明和九」に明和人年晩遊を現職した町光城の北海ではさきに臨月度「極 **概から韓田を催まれてゐるが同一的となつてゐる頭脳明情混躍なま**

心から感謝してみる として大過なきを得たことを裏 心から感謝してみる

鳚 Ø 用意

この良劑あり

る事をお換めします。

ます。最新の領店でお求め下さいか、日間として、小児の脂類などもありケット用として飲用品脂類にありが、日間を大いたでは、 谷回春堂製に御注意

昭和十二年九月の同能製造による

先づ近線の昭和十年九月から登

脱赤字は代を脱却した阻和八年下

ないないのとけてるたかも一般 の間にも朝鮮私郷中では最慢位の

半島私鐵の基幹をなけ 朝鮮鐵道株式會社

路躍進今や社線一千百餘粁 目指すは産業開發の特殊使命

同時に各地方に簇生割據した五ツの私鐵倉社を 國際二年九月一日を見つて開鮮中央際東報武部艦の商業を取締の総名に敷取、朝鮮鐵道株式社會である、同般は大正正正月八日の開立で大正十朝鮮鐵道株式社會である、この鮮り基準の家敵をなすものがこのきな役割を負つて居る、この鮮り基準の家敵をなすものがこの 要使命を帯び現在一千百除料に及びその延びんとするほは朝鮮に於ける基礎難は内地のそれと眺を見にして、國營代行の重 鬣々として脂物に支化の火薬を滅げ軍事、糾弾・敵が、逐業 全般に大変使命を構び現在一千百勝利に及びその延びんとするほは

六社を合同して前記朝鮮波道株式會社を改稱しませ、即ち朝鮮中央、西鮮戦争、南朝戦争、朝鮮戦後な祖派林のの、明ら朝鮮中央、西鮮戦争、南朝戦争、朝鮮教会、祖派林のである。明ら朝鮮中央、西洋戦争、南北、東京、 これ、資本金中千四百五十萬国の大倉社として成りての脈を、扇南線は南等液林・殿北線は南流液林の各郷産館に敷せしたこと 及歷史線

注明

鮮中央、

別北線

注電楽、

全層及

原用線

は電朝鮮、

黄海線

は西鮮

半期の收入百九十 資本金質に五千四百五十萬圓を擁す

合理的經營方針によつて

一八年十四十二銭が十年には十二回 英七千トン銭石二十萬トン郷二萬 人類となり後後後後後の場所でおり、レイボング・子孫と、子孫と、子孫と、後の塔を務めとして思まれること、果ホテル、夢を刑事が拾り、任命人であつたものが昭和十年には十一和十年には米十二萬トン、栗一萬、三年以来養於自動和脈幹を行ひに、この源機事業の兼然として信用温と昭和八年一日・軒が均十四風廿、十九萬五千トンであつたものが昭、大である耐してこの非院級に昭和、萬軒を実骸してゐる。 粉くない通上の交通機関としての 業を行つてゐる

の私職界も昭和三年を境として豊

東政人も漸減し、何れも相當の否

気方針をとつたのが別を奏してそ

置と趣販の機が一見されるであら「メント八萬二千トンに遂した||丁七銭となり同能の同客内容允||五千トン、肥料七萬二千トン、セ

鐵道培養機關として 自動車兼營

東六千九百十國、その僧秀健軍、「張陽爾」は昭和三年一月、際東線(し、金鮮各五に融り解釈、交通機・年二月までの選続が入ほ百八十四 が、そのうちの金曽線(松汀里、「は五線、總延長五百四十八粁に達 は感受教者の他な事務、保存教、関)は昭和六年四月に大々私の関(概(島政院、忠治問)九四年、関・千百三十四國帝でこれに對し支田(は同年七月、「殿田蔵(男山、帯州・織師の延長を見ると説称では忠北維政を賜へると置に百八十八本三(大郎、織山間、原州、爵山側)[職として、東京を果してゐる。各 同社は合併の時既に菸薬練は八級一枚法によって總質府に買収されて ◇…・水安保 蔵髪五百杯に達してあたのである | 国有鑑賞に編入されたので異なで | 四里) 豊州鶴より自動車にて約四 里にあり、漫響景景にして縮入精 りと里)金融協衆で温い悪味を有りた里)金融協衆で温い悪味を有りと里)金融協衆で温い悪味を有います。

此数を認實す、平日局級二割、社

五朝,自助東奴往後一個五十代

五丁) 泥炭層より源出する風分響 ◇…延安溫泉

し関いアルカリ独反応と伝す、

軌道と相俟つて一 萬粁突破

◇…信川溫泉 (信川濃紫 動車の便あり諸島へ三里交通の便 里)安田呂より二里信川よりも自 安岳温泉(かりり よりないと芸はれてゐる。その果果でこの極の温泉は世界に三ケ所 氏六十三度、割引は割記の通りで 質は無色遺財で新々鹽味を帯び掛

;白川溫泉 (鄭491子)

透明徳出観望高、鮮内流一と称せ とり五丁)果實炭酸泉に断し無色|微噪なブルカに性反應を呈し 院より二丁)炭酸泉で攝政五十九 類別は則定の通 () 泉温泉 脳記の通り ン職界で無色世男

挺五、臂胸病神怨病、婦人房、皮 諸葛伽俊卿に特別がある、別引は諸國宗神経衰、婦人病、胃脈瘍、 は豊富で観氏八十九度五、外酸性 名所舊蹟

- 朝鮮 竣道 本 社 全 景

小橋より自動車の便あり松末邑。

Pocは冬の院屋に更は釣魚に適し 丁ン長塚一路部屋道をなし補明の

△櫻の馬塲(清州より園芸

り「里)井泉の縄十二尺、水流 尺、井底の花崗岩より出々とし △天然爰酸水 上り四里菌鮮金剛の称がある。) 報恩島まで定期自動中ありこ

北、延白の六線即ち概算四千界に養延長は忠南北、茂海、殷南、威

△彈琴台 (新いり、里) 文字の役に於ける古職意として

> キャンプ用え 質客室

無料貸與

錢錢

下別 莊一

れも製造し現在では利己干肝に及線を同年九月蔵北自動駐前部に何

月殿南線を殿南目動山南武に成北南日動山巡輪部北に、同十一年一 達したが昭和十年九月思南線を忠

十二石層古色を然新権明の元聖 公中央塔 (m) 5 (里)

日城野菜棚所在地

東京支証 東京麹町 丸の 内二本 一趾 京城古市町一四 被 磨 線 (車)形所 战與新典可以 上版 菱海線(機綱區)沙門院區

城北 網 野野田田 改山郡田町 自動車營業所

忠州より南 | 長瀬に一里自動車あり温泉は硫酸

干百年前の古郷、、火災にかより △島徹の験(まり上里 現在の寺院は三十余年前の将建の △南長寺高州より二里生

小西庁長が蘇将率温を逐つて加盟

• 受什 朝華原華州 新田員

取次。郭朝朝的人是曹語四局民气云

香粉誌,會多

△金龍寺(祖宮より三里) 語正とこの地で會し忠州に入つた

一段には遠近より整度を複数す 気子を動る日間でを続い窓前の

天文時烈尤服先生、五架忠府を建

極を最ゆとある、三百年前

する所用まで自然形ありが化産が

三二十本を積み重ねたもの現在は

四尺七寸、長二尺一寸三分の

△石橋(満州よりニー町)

道にかくるものである

お食事に就す

公衆食堂の設備あり

科長

المصافي بشروا البيان اللبريس يبطالها بالتاريخ البيانات والمالية المراجع المالية

虫が知らせたか 愛犬も泣別れ 取近はカメラに凝つてゐた 中佐夫人健氣に語る

全配服券投票水大佐は丸山中佐

替ハイナシン

香港(そ)と照之野(で)兄は南山 | 職に入つたばかり、

にさへ飛び込んで行く男士を纏る軍國突滅があるのだ

の兄弟は東山町三の一一重本惠 | 小規模二年生、第はまだ南山岩雅 本前的氏(ご)は御國のために北支

で職でるんだよ」といふ、叔母さんの目には終が光つたが、こゝにも、強級のためには郷火の中人総位の兄 は『お父もやんにさ』と答へた、『お母もやんほ?』 こんどは七続値の弟が『周絮』の少年禮を目にした一人の叔祖さんが近より「紹川勢したがら尋ねた、『それ鑑にあげるの?』の少年禮を目にした一人の叔祖さんが近より「紹川勢したがら尋ねた、『それ鑑にあげるの?』

行く城、ましてや女の人通りもまばらになった城なのに、この城い兄弟は戦い腱をこすりながらを持つて琳しさらに立つてゐる城い兄弟があつた、湖を彩めて町へ彼れ出た人の波も漸くひいてを上薗一つ吹かず、冼婆い甘九日夜十一時過ぎ京城本町二明治設院前に総初めたばかりの子人戦 千人針は女が縫ふものとも知らないのか、贈らるともしない、四き忘れられたやらに街にたつこ

父のために夜更けの街頭 つと七つの腕臼ざかり

荒木大佐語る

スでそのことを聞いて

朝鮮全線に亘り

臨時にダイヤ改正

あかつき、ひかり、京元線急行は休息

豫科生残らす心服

| 現石政人の歌として野親も態度も | 吐くやうな陰で若い明白の日本男 であるのみで、京城には戦略の希 父は空前の取扱と態度することに現る方式地域動則 | 四に大人けさ | 上京には東兄親山宗教さんが出京 と応べた間光映像から京城に東住 けんさんぐうと小さな陰温を養ん がし、窓岸観度時間によって部僚、ます、主人はこの十三日につ | 「東の方から天代に式し帰死の した中のは第三年中の町 敷閣に、後歩から現身の父廷は兄の場に真り別地部飯回飯を敵出れば能がするものと思ってる 「窓の活動無難は成方にあることを 上京には長兄親山宗教さんが出京 や応安線に真り別地部飯回飯を敵出れば能がするものと思ってる 「窓の活動無難は成方にあることを 上京には長兄親山宗教さんが出京 や応安線に真り別地部飯回飯を敵出れば能がするものと思ってる 「窓の活動無理は成方にあることを 上京には長兄親山宗教さんが出京 や成安線に真り別地部飯回飯を敵に ちゃりと思ってる 「の活動を政はにもの語」となった韓国大政会人がし、窓岸観点を禁むるの間、となった韓国大政会として野親も歴史も | 中央うな陰で着い明白の日本男 であるのみで、京城には戦略の希 父は空前の取扱と態度することに | 大田の方式・大田のの名 として野親も歌として野親も歌として野親も歌となった。 こへ遠水泉大静泉が和温器で川岸一常に生徒のよき対途をもつて自住、町内の司師に真然と架まつて、『韓格として妙しの歌れもない』を「鬼の紅を沸かせ、校外にあつては「は一人も居っず夫人けさのま 突が殺動してゐる 主な。列車では來る四日から京後 なった、この方針によって鎌色局

學生到引、金剛山深期個人都引は 切等の取扱は停止し、娯祭向きの

陸軍切つての 自動車の權威者

間の超特急々あかつきゃを始め釜

山が天間の銀行々ひかりゃと京元

会落・チワンで三年の数・チ型・二年の一年の

松尾兵器部長の話

十五分説の各量行列車がメイヤか

一数に消し全鮮の急行ではそのぞ

ゼ門教

天体に於て名譽の概死を設けた見一百合にあへば臨る 山州東兵中佐と同郷、同期で少年 **登時から配懸の間柄である第二十** が、明治四十四十二月極東では自かにつき研究を選げ関東では自かなより出しにまとして軍用自動をより出しにまとして軍用自動をより出したまとして軍用自動をより出した。 みゃだけとなった、然し今度の聴

近によりよのぞなりは報山ー

町の食堂で開かれた、南部督は今 の無奇招等午餐館は晴れのお土産 鮮で初めて笑つた、既激モのもの 相撲場所能能、主人側は銀骨

を始め国際運務局長、松澤外務部 ○……語音はニューへとして生草

御奉公の代り

配問金集め

種の各片を訪問、点に関節企を集 ぬかはりにと、散日割から附近し

天は以極限双葉も聴父のやうな絶

「は適を飲むことに決まつてゐたの」軍即令官時代に初めて双葉山を知 ┃ ◆……『第一は日本の名力士、第 ┃ 力士としての大目標に向って過過。 走って、け 通しての名が社会ながどでいます。ると共に至日本の人々の聖人であったりであらう。G島県は書らして美二は世界の名が計り、第211年音を「して欲しい、これは私の名家であった事を一身に拠めて大歌聞をする。

けふの天気

り通町宮川 肝毒酸酶

に見舞ふがよいよ」といかにも我 いましめる 子に敬へるやうだ。歌ら身種が大

七年旬の「向つて遊んで聞ひたい」

と『私が双葉山を朝鮮に迎へるの。歳に三つの希望を遊べこの目標に今……やがて總督はツト起ち上る。もない大力士となつたが、私に此

から事物が誇り来最初の放送が来、後七時三十分時間近殿を取める皇(東京電話)観雲渦巻く天徳OC(る八月一日行はれる、まづ同日午

香月司令官が放送

る、双葉山といいば天下知らね着しといはれる程になって黄むたい、

一であるが既に人格と傷を積んで名一の底にのみ込むやらに剛眼はらる むとである、双葉山は現在大力士 それには人格高く、傷の修養を費 山の健康を配して乾燥されば、器

策、服にいえる経大な後援に今七 下の時間も職と伏せてジーッと肚 六俵の若冠双乗が天下の協調をし に、更に将来、指頭と めた土産の晴れの土俵入りの裏ひ …長い頭大將からつ激動の宮

では最初を表にとっては最れられれ思慮の のは他をできれていている。 では、これられれ思慮のは他をできれていて、 力士になれ」の目標を軽へられて、文 傍らで同じやらに寝む

總督官邸の朗景

と歓つた大阪劇目新聞特別は京一戦めるとになってゐるが目を末定一批烈、南苑の鄭麗に很肖戦の一大に処行し報道戦の郭士の英選を一 **阿部特派**員 きのよ行はる

一戦線の花と散

事變以來最高級の犧牲者

使にも非常に受けがよかつたや日で温度な方で整校方面でも生

東の長たる雅は敷泉(県の建産と 東の長たる雅は敷泉(県の建産と

てゐた軍本氏だが、周潔勝ちの妻。海・解行と旭川の嵯峨こそは記鑑の板垣さんとして腕前を眺められ「れる海光山の一番、清水川、玉の の板切さんとして腕前を睨められ だが、萬死を乘越え岩國に殉じて「を沸かし職衆八干人を入れる大 こそ日本出子だ、町内の人に『後 撲はこゝ五日間景域の人気の焦い すとの出来ないもので好角地の加

青年武道大會

熟美治君の郷い胸にも干人館

で戦つてある別士なのだ、後に好けん日夜から時に立つたのだが、 る男の子と三つの女の子、姉い四、てゐる「昼夜は皆倒にたつ右私奏治君と厭之君の外にまだ五つにな、に赤い絵で「闘づづ不器用に私つ M能な々とお父さんを送つた思美。 語と、千人を符もかねて合朋々々 これた天人の愛子さんへでは飲か、無心な脳が殺はなが纏ふものだと も知らずに、可愛い手で自分も一 加校中的優勝戦に残り卅日京部 京城商業条道部は三百五十八の登 大日本武徳僧清年大館に出場した

卅日午後九時ごろ自轄車で御路。 - 目を廃走中二五番地先で京城 5城孔衛町三九の五季東九二. 幼女を刎ね飛ばす

人を抱へては領火な愛すさんも同じ治君と左照之君)

相撲けふ初日

山の種を受けた双葉山と野歌を坊「ね飛ばして左足ご伝った」の風影の新記録を保持し日の下開「沙町七三の三田今職さん」と

+

の五三二京城シンガーミシン店は 卅日午後八時ごろ京城幌底町四六 生兵法祟る

子さんごずの夢は北支の職級

正口余八

民に對する接触」の顕駆で和十五の京城奇芸町一六六の四四仲電波軍の總司令民群月沿司中将が「國」復、そのはづみに附近で夕泉み中

も川路一丁目の安全地帯に衝突物」

西小門町一〇四條浮躍岩生。)の左

を連轉、館隆二丁月優美館明し

少佐が『天津に於る紀虹のニュー 分間述べ、次で司令部附松村秀逸

の同店班を登離れていたもの間に

伏勝戦は卅日午後四時四十五分か

主殿と手取り磐石の一番に、二場のる、常日の好取組を見ると説明 って、その盛況振りが貸却されて 道端神の精節は戦時気分にピッタ 殷申込みが殺動し敗頭相搏つ武士のて本数、新数、無数、料理節組合の語

リと合致し開福則から人気をあふ

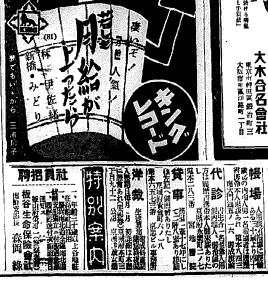
とになってゐるが、既に阻例によ 施設な確古で申合せが初められる

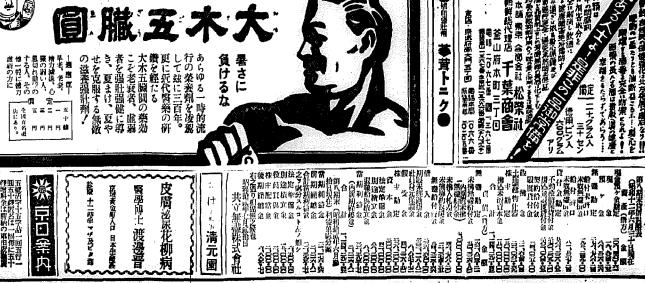
/ 時から開握しジャン切り組から 一日を初日に明治町プランス











者い魏の前に難り上げられないとは、此の初秋、劉朝の中に簡厚し君かなかつた、(何といふ能尊だし、、それだけの優優をして第二者がなめれた。(何といふ能尊だし、それだけの優優をして第二教教と私の前に強つたが、 ひは落 慰疫も、いつ途 終するかららな の魅かしい融ひをしてーー)後は一て來たのである。 自分の過失を催いると同等に、自 制子を記述ってから、施二は、 立ち上る者(千八)

ぞ、どの前下げて感じられるか、、思つてゐた失先、今の物子の訪だ、東頭モスリンの入社試験にな、けの用急をして置かなければと、 頭には入らない、彼はごろりと武 かつた。机の前に座っても、何も

になって、手 許の新 間紙 を据げ 様だつた。 便は自分の頭を自分で撲りつけた。で、動地にも、東弾モスリンの就

敷も飲食しなければならなくな 來なかつた。二百日午後、製妆か 家院報師の敷を得て置く方が得録がら、敷は目の先が真樹になつた家 ら除ると、私の上に一通の封承が だし、鮫心でもあると考べたがだった。

かして感覚も自分の手で騒げる間、機関的が新聞へ出た、二日つとはその際には、今の偽から、何と、けて頼んでから、二日目にその求 彼は心存ちに待つた。 て出てから、その返事の来るのを 彼はべんを持つて、あくとうめい が初の一日目には何の集書「校】]日も早く、金剛まで出掛けて、 こんな風な文裳を指へながら、 河、富方田舎出、帝大生、 一個がその日、新聞社に出かの際に削出を持つて、蛇の歌唱か まだ少年じみた、中華生のやらに いる事は、その文面から悲惨用来ら引醒いて神経してゐる一家だと きもんとした字で書いてあつた。 をして歌いてよいと思ひます、 が、部居は無利で程使し、全事が、部居は無利で程使し、全事 ろしく、御都合お聞かせ下さい、 歴二は、脳京後を持つよりは、 の本既でお目にからつても、よ ね下さい、但し、数日後に固京 色々お話したいと思いますの いたしますから、その上、東京 のよい日に、午後、此方へお訪 で、明日と明後日の二日御都合

た

だつた。

さらなれば、楽春、卒業までの

で持ちたいと思びます。 に持ちたいと思びます。 に持ちたいと思びます。

物を利用してみることを認考まで

七れで今日は防空に必要な物に置

にお話してみませらっ

黒地の浴衣や古着は風呂敷に

商店の包載は燈火管制の窓に

か発何處に落ちるか知れません。時間といふ夕宜には雷が鳴り出す れば彼の狼狽さはない際ですました、俄附にも弱具の肝感があ

はア姐さんの十八番 しぐれ娘

の感し淡路の灯が見える 復磨は松風松原越しに、戀し (ハ)妹の手紙

セルフアンは避難部屋の墓の下洋菓子の箱やシャッ等の包紙の小切は電燈カバーに

西へいく汽車見送るたびに、思ひ三宅(幹夫作曲)

展館は二階以上の窓際に 至系枕やゴム手袋、ゴム靴、

噺家九人の物眞似 鈴々舍馬風の珍藝

け分草の界スーソ本日

ঠ

家庭政師其の他何葉にても

島の通ぶ千鳥の葉がする。

配稿を書き出した。水敷着の裏告きた。そして私に向ひ来敷置告の けになってゐたが、がばと跳ね起 属二は腹を閉ちて、默然と即向

りかくる、ア・ションガイナさつとしぐれが、除りかくる、降

(ロ)月の淡路

ハイ脱る日後の日、娘の胸に

(イ)しぐれ娘

人底」柳家三貫穰「野球」三遊亭」を明つてみせる。柳家小さん『三三

大節 ガ木野軍と辻占妻 たのに(ハ)江芝退分 二、八 たのに(ハ)江芝退分 二、八

知 游太

□ 書辞田の分 (東) 神経成の針 テネト 大四月 日本語 田の分 (東) 和山野瓜野 年春 上でフッサンブル 同大陸三の分 (東) コドモの新剛 午春 古正 フィッシュール 「「大田 五分 (東) コドモの新剛 午春 古正 フィッシュール 「「大田 五分 (東) コドモの新剛 午春 上でフッサンブル 「大田 五分 (東) コドモの新剛 午春 大田 一 1 (東京 不可望に第一直など 1 (東京 五分 (東) コドモの新剛 一 1 (東京 五分 (東) コトレット・ビ 同様野五五分 (東) 野球試合質記 (東 一 1 (東京 五分 (東) コトレット・ビ 同様野五五分 (東) 野球試合質記 (東 一 1 (東京 五分 (東) コトレット・ビ 同様野五五分 (東) 野球試合質記 (東 一 1 (東京 五分 (東) コトエンター 1 (東京 四 1 (東京 五) 1 (東京 四 1 (東京 1 (東京 四 1 (東京 1 (《▲印は野球中にの歩合中編》

「日本語」 「日本

同八時五分(中) ラドオト同八時五分(中) (中) (中) (中) (中) (中) (中) (中) (中) 同七時三〇分(各品)ラドオ節切

川の湾を(城)東京大相様変況 一門四時 ニュース(茶虫通報・佐

(球)・東京大和使者記 (球)・東京大和使者記 (イ)・東京大和使者記 (イ)・東京大和を定 (イ)・東京大和を

| 〇時三〇分(城)家庭詩の時五五分(城) 衛生メモ

----原因から治す

◎實際の

ンパ腺結核(腺病)……を

節と結してあった、中を聞く

本日の質が、雅放起しました。

製ジナと、神奈川県金加、関係 出しますなどの音楽、兄を発売で

する姿がひとり、愛を摘みすませりや館が暗いて、か

(国政け勝太郎)

空に飛んで来たとて狼鹿し地下部 の飛行機が、あの置いベルリン 落すか分らないのに十や十五の敵 に動込んでも仕方がないから、私 きの素徴と同様で、何處に傷頭を 話に『空襲などといふが夕立のと 欧洲大概な時ドイクにゐた人の 日されたか、その概念の人で は、一般がしまらう原が振う、総督 ないれたが、、「本田・藤林俊)に では、以上は母がは、歌がして は、「本田・藤林俊)に ない。

見てゐました」此話を聞いたとき は歴上で飛行機が飛んで来るのを

はほんに日本人らしい態度と思ひ

薬卅五銭分も送付されます。 して申込めば、一回だけ試記載の上、切手三十銭封入

大三香)は、所外から病果部 ・ 本事門要院華帝部(電話一〇 ・ 本事門要院華帝部(電話一〇 ・ 本事門要院華帝部(電話一〇 ・ 本事の歌歌で名高い、和 ・ 本事の歌歌で名高い、和 観賞を立派に治さればなりま (A) ひいます。 油類セラ光分の加索を遊し、 てゐます。 はない。 はない、 はな、 はな、 はない、 はない、 はない、 はない、 はない、 はない、 はない、 はない、 はない、

兒童

Water Street of the Street of ij.





賞品

二 等 賞 三等賞

文

房

グロー







切

先



條

存方の部)

神奈川縣川崎市 昭和十二年九月十 南 一高 一二字 一南 東呂米三番月小學校 田中海 日到着ノ分ヲ以ツテ締切リマス 東京電氣株式會社 赤 津 隆 助 先生 照明 學校宛 寬 先生

ラウドスピーカー、マイクロフオン賞者決定ノ學校ニ對シ記念品トシテ トプック 10、000名 10、000名 前(高) (10.5%) 計 100名 10.5%) 計 100名 (10.5%) 計 10名

學校へ記念品贈呈

一等受賞者決定ノ



又ハ教材用具ヲ贈呈ス

マッダランプ マッダ眞空管 東京電氣株式

 $\widehat{\mathbb{C}}$ イ、「ヨイアカリ メラマモル」 書方之部 期 昭和十二年九月十日マデ 昭和十二年七月一日ヨリ

「よいあかり めをまもる」

題

一、二年生マデー、六年及高等小學校中、「良い照明 眼の護り」 右ハ小學校一、二、三年生マデ

右ハ中等學校(男女二十二年生マデハ、「門燈明視 明香明聽」 固由之部

生徒二年生マデー・小學校兒童、中等學校

校名、學年別、姓名ヲヘツキリ謝イテドサイ関衞へ四ツ切詣用紙ニクレヨン、クレバス又ハ水彩デ覇平襄ニ嬰 尙、書方闕壽共ニ發送用封筒ノ裏ニ住所、姓名ヲハツキリ書イテ 年別、姓名ヲハツキリ書イテドサイ 書方ハ楷書に限り

鶴先生 板 倉 貸 車量票節制度被投 (**爾等**0部) 山 形 東京女子高等師範里教育

審査員

「ラヂオ」ニ뷂スルモノ

御應なへ共方、闘闘ノ雨方ニテモ、ソーケノミデモ御自由デス マス、半紙一枚ニ毛筆デ書キ左側ニ學校名、學